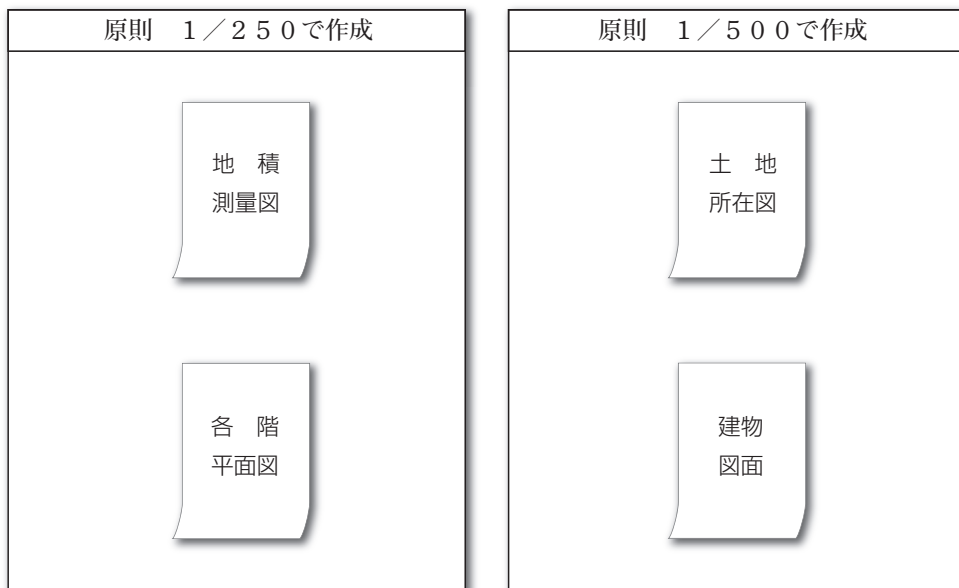


## Ⅱ 土地家屋調査士試験受験用定規の基本的な使用方法

**Q7** 縮尺が1/250と1/500のものがありますが、それはなぜですか？

**A7** A6でお答えしたように、皆さんが本試験において作成する可能性のある土地所在図、地積測量図、地役権図面、建物図面、各階平面図の原則とされている縮尺が、それぞれ異なるからです。



**Q8** 地役権図面の原則とされている縮尺はいくつなのでしょう？

**A8** 地役権図面は、「適宜」の縮尺によることができるとされており、原則となる縮尺が規定されておられません。



「地役権図面の縮尺FREE」は、択一でも効いてくる知識なので、今のうちから覚えておきましょう！

**Q9** 定規を使った線の引き方を教えてください。

**A9** では、まず地積測量図①を用意し、1/250の目盛りが縦になるよう左手に持ってください。シャープペンシルで縦に1本線を引いてみてください。次は横に1本線を引いてみてください。

**Q10** 線をきれいに引くコツがあれば教えてください。

**A10** 定規を押さえている左手はしっかりと押さえてください。ペンは紙上に垂直にあてるようにしましょう。線は横に引くほうが安定して引けます。なるべく横に引く様にしてください。それでは、先ほどの直角線を引いた下書きにボールペンで清書をしてみましょう。



下書きは必ず消すようにしましょう。

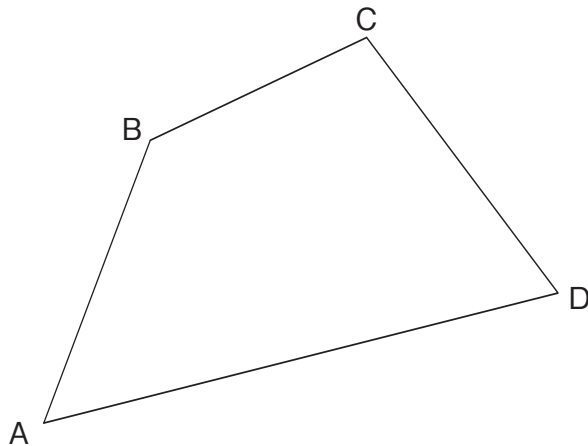
**Q11** 地積測量図の作成を教えてください。

**A11** では、まず、下表に示す座標値を地積測量図②の右半面にプロットしてみてください。(シャープペンシルを使用)

〔座標値一覧表〕 (単位：m)

点名	X座標	Y座標
A	0.00	0.00
B	9.36	3.52
C	12.76	10.68
D	4.32	17.01

〔完成見本〕



**Q12** 「プロット」って何ですか？

**A12** ここでいう、「プロット」とは、指定された縮尺の定規を用いて、図面上に与えられた座標値の点を落とす(印をつける)ことです。

---

**Q13** プロットが終わったら、次は何をすればよいですか？

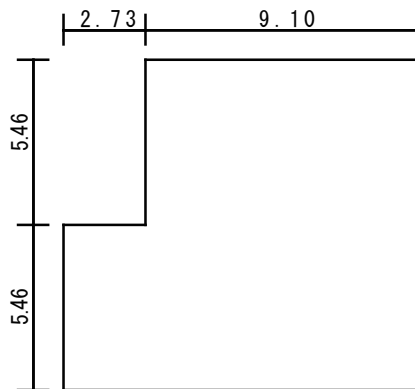
**A13** プロットしたそれぞれの点をシャープペンシルで結びます。そしてその後、ボールペンで清書し、下書きを消して完成です。

---

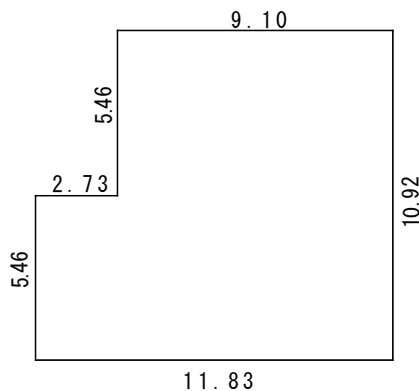
**Q14** 各階平面図の作成方法を教えてください。

**A14** では、まず、下に示す見取図の形状を、250分の1の縮尺で、建物図面・各階平面図①と一緒に下書きしていきましょう。下書きが完了したら、ボールペンで清書し、建物の周囲の長さを記入しましょう。

[見取図]



[各階平面図]



(縮尺：1 / 250)